

校長通信

# 止まり木



令和8年(2026年)  
4月3日発行  
第1号

大阪市立野田中学校

## はじまりの時



4月3日、81期生の入学式を挙行了しました。新たな希望に胸をふくらませて

入学してきた新入生のみなさん、改めて本当におめでとうございます。また、8日の始業式からいよいよ本格的に野田中学校の1年が始まります。先輩たちとともに中学校でしかできない様々なことに挑戦していきましょう。以下に入学式で校長先生が皆さんに贈った式辞を紹介します。2, 3年生の皆さんもぜひ、読んでください。

### 式辞

野田中学校 第81期生 98名の新入生の皆さんご入学おめでとうございます。また保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は、お子様のご入学、本当におめでとうございます。教職員を代表して心からお祝い申し上げます。

さらには、日頃より子どもたちや学校を温かく見守り、応援していただいているご来賓の皆様にもご多忙の中、ご臨席賜り、厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、皆さんは小学校の六年間を立派に修了し、希望を胸に野田中学校の門をくぐりました。今、どんな気持ちでこの場所にいますか。やる気に満ちていますか。それとも少し不安があるでしょうか。様々な思いがあるかと思いますが、どうか安心してください。野田中学校の教職員はどんな時も皆さんを温かく包み、支えてくれます。

一緒に頑張っていきましょう。最初に皆さんに話しておきたいことは、本校の校訓についてです。野田中学校の校訓は、「**自主・協調・友愛**」の3つです。

最初の「**自主**」とは「自ら考えて行動すること」です。自ら考えるためには、しっかりと学ばなければなりません。学校での学びの中心は授業です。毎日の授業を大切にしてください。そして自ら目標を立て、それに向かって一歩を踏み出す勇氣を持ってください。

二つ目の「**協調**」は、「心と力を合わせて助け合うこと」です。学校は、多様な考えを持つ仲間が集まる社会です。相手の立場や考えを尊重し、力を合わせて物事を成し遂げていきましょう。

最後の「**友愛**」とは、「友だちを思いやり、仲間を大切にすること」です。困っている人がいれば手を差し伸べ、悲しんでいる人がいれば寄り添う。そんな風に人を大切にすれば、必ず自分も大切にされるようになります。真の友情を築いてほしいと思います。

もう一つお話ししたいこととして3月の修了式で新2, 3年生に話したことを皆さんにも伝えたいと思います。これから野田中学校のみんなに築いてほしい「**新しい文化**」についてです。それは、「**頑張っている人を正しく認める文化**」をみんなに築いてほしいということです。人はともすると周りの人に対し、自分よりも劣っているところや嫌なところを探し、時には攻撃し、自分を優位にして安心しようとする場合があります。しかし、それでは一人一人の成長はストップしてしまいます。一緒に「**人を認める文化**」を築いていきましょう。

ところで、毎日少しずつ努力していくと、その小さな変化の積み重ねにより、すべてが劇的に変化する瞬間が訪れます。そのことを「**ティッピングポイント**」といいます。皆さんは、富士山を知っていますね。3776M、日本で一番高い山です。では、問題です。「ここに新聞紙があります。厚さは0.1mm。この新聞紙を限りなく半分に折っていくことができるとして、何回折ったら富士山の山頂に届くでしょうか？」 1回目、0.2mm、2回目、0.4mm。気が遠くなりそうですが、実はたった26回目で富士山をはるかに超える結果になります。はじめはわずかな変化であったとしても、このように「**ティッピングポイント**」は必ずやってきます。大きな結果に結びつくことを信じて**何かを継続してやり続けてみてください**。

最後になりますが、校長先生には、夢があります。それは「**止まり木のような学校を創る**」という夢です。止まり木とは飛ぶことに疲れた鳥たちが木に止り、羽を休め、また元気に飛び立っていく。そんな木のことです。苦しいことや悩み事があっても野田中学校に行けば元気になる、安心できる。だからまた明日から頑張ろうという気持ちになれる、そんなあったかな学校を創りたいと思います。どうか皆さんの力も貸してください。一緒に毎日、楽しく過ごせる学校を創っていきましょう。

では新入生のみなさん、『これから歩く道を見つけるのに必要なのは、心配ではなく勇氣である。』という言葉を贈り、私の歓迎の言葉とします。